

特別会計 企業会計

市では、一般会計以外に特別会計が8会計、企業会計が2会計あります。特別会計を昨年度と比較すると、一般会計からの繰入金は、特別会計全体で2億5,092万円増加しました。

一般会計と別のお財布と考えてくださいね。



●特別会計…特定の収入でその支出が賄えるもの

会計名	歳入	歳出	歳入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険特別会計	52億6,519万円	52億1,687万円	3億6,472万円
後期高齢者医療保険特別会計	4億4,182万円	4億3,437万円	1億3,373万円
介護保険特別会計	30億1,917万円	29億9,593万円	4億5,482万円
工業団地造成事業特別会計	4,974万円	4,974万円	76万円
簡易水道事業特別会計	4億8,828万円	4億6,437万円	1億9,175万円
下水道事業特別会計	7億6,484万円	6億9,232万円	5億1,328万円
農業集落排水事業特別会計	3億5,542万円	3億5,542万円	2億8,969万円
漁業集落排水事業特別会計	2,816万円	2,816万円	2,660万円

※一般会計から総額19億7,535万円が繰り入れされました

●企業会計…使用料などの収益があり、支出を収益で賄っているもの

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	前年度繰越金などからの補てん額
水道事業会計	4億2,553万円	3億6,443万円	6,707万円	3億2,918万円	2億4,964万円
工業用水道事業会計	4,723万円	2,836万円	0万円	521万円	521万円

借金返済 (一般会計公債費)

借金残高は、**170億2,113万円**
平成27年度の借金返済額は、31億8,612万円

基金積立 (一般会計積立金)

積立総額は、**133億100万円**
平成27年度の基金積立額は、22億4,462万円

計画的に返済

借金の返済額は、31億8,612万円で、昨年度に比べ3億3,865万円増加しています。平成27年度末の借金残高は、昨年度と比べると9億7,030万円の減少となっています。市民一人あたりにすると、502,335円となります。

将来に備え

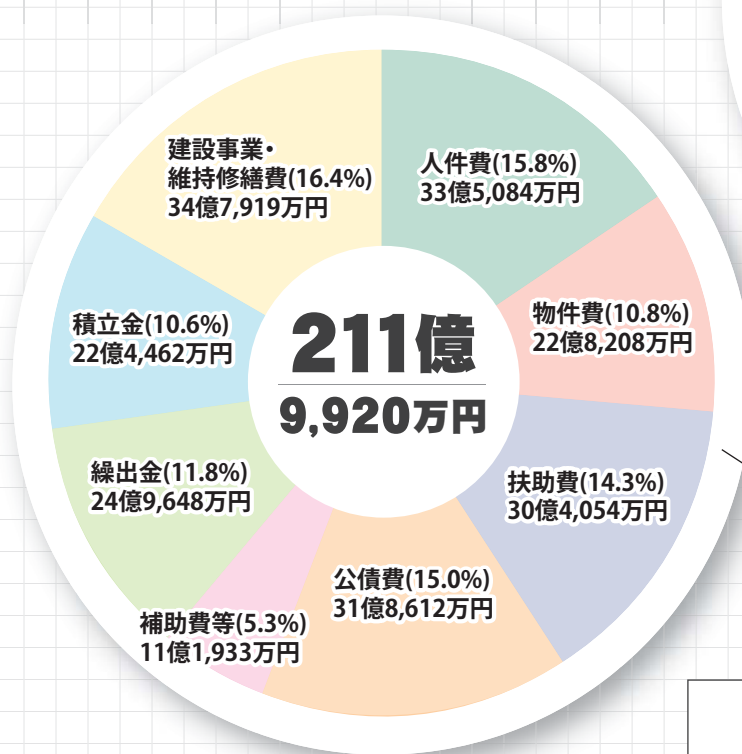
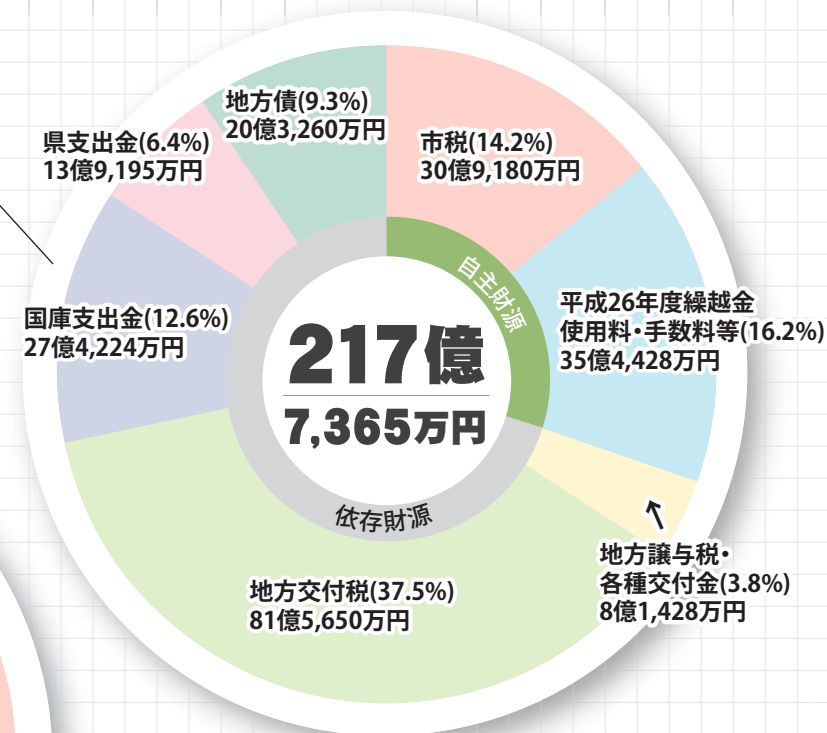
基金積立額は、22億4,462万円で、前年度に比べ14億6,467万円増加しています。内容は、前年度の繰越金の2分の1以上を積み立てることと規定されている財政調整基金に13億9,800万円、市債の計画的な償還を行うための減債基金に4億9,216万円などとなっています。平成27年度末の基金現在高は、前年度に比べ13億6,725万円増加しています。市民一人あたりにすると、392,545円となります。

決算報告 平成27年度

平成27年度決算が12月市議会で認定されました。毎年公表される決算報告は、将来を見極めるうえで大切な指標となります。平成27年度はどれだけのお金をどのように使ったのかお知らせします。

一般会計歳入

依存財源が全体の7割を占める



一般会計歳出

前年度に比べて約5億円の減額

次年度繰越金

歳入 217億7,365万円
-) 歳出 211億9,920万円
5億7,445万円
(繰越金のうち8,147万円は※繰越事業費)
※前年度の事業が本年度に繰り越されたもの

一般会計をチェック!

平成27年度一般会計の決算は、歳入総額217億7,365万円、歳出総額211億9,920万円となりました。昨年度に比べ、歳入において13億8,265万円の減、歳出においても4億9,332万円の減となりました。主な要因は、建設事業費の減少とそれに伴う国庫支出金および市債等の減によるものです。また、歳入から歳出を差し引いた形式収支は、5億7,445万円の黒字に、形式収支から翌年度へ繰

り越した事業に充てるための財源を控除した実質収支は4億9,298万円の黒字になりました。しかしながら、歳入総額の約4割を占める地方交付税のうち、普通交付税の段階的縮減が平成28年度から始まるなど、市の財政状況が厳しいことには変わりありません。

